

特集 男女共同参画社会の実現

誰もがいきいきと暮らし活躍できるまちへ

問合せ 男女共同参画推進室 (☎47-8549)



人口減少が進む中、大垣市が持続可能なまちであり続けるため、誰もが住み続けたいと思える環境をさらに充実させることが必要です。

また、毎年3月8日は、女性の権利を守りジェンダー平等の実現を目指すために、国連が「国際女性デー」として定めた記念日です。女性の社会参加や功績を称えると同時に、残された課題について考える日です。

これを機会に、男女共同参画や大垣市の女性活躍について考えてみましょう。

大垣市がめざす男女共同参画社会

大垣市は、男女共同参画社会の実現を目指すため、男女共同参画プランを策定しています。

<めざす姿>

性別による制約を受けず 誰もがいきいきと暮らし活躍できるまち

男女共同参画とは

男女共同参画社会とは

男女が互いに人権を尊重し、「男性」や「女性」というイメージにあてはめてしまうことなく、一人一人が持つ個性や能力を發揮できる社会のことです。

社会変化への対応の必要性

少子高齢化による人口減少や生活様式の多様化に対応するため、家庭・学校・職場・地域で、だれもが「男女共同参画の視点」を取り入れることが重要です。

現状と課題

男女共同参画基本法や女性活躍推進法などが制定され、男女平等はもう当たり前のこととして考えている人も多いでしょう。

しかし、意思決定の場において女性が少なかったり、男性への社会的な重圧がかかるなど、性別による不平等感は依然として存在します。

固定的な性別役割分担意識の問題

「家事は女性がするべき」「重要なことは男性が決める」と思わず口にしていませんか。それは固定的な性別役割分担意識と言い、知らず知らずのうちに刷り込まれた考え方です。こうした思い込みを見直すことは、より良い社会づくりの第一歩となります。



基本目標		施策の方向
1	男女共同参画意識が浸透したまち	(1) 男女共同参画に関する理解促進
		(2) 家庭・地域生活における男女共同参画の推進
		(3) 学校等における男女共同参画の推進
2	性別による格差がなく男女がともに活躍できるまち(大垣市女性活躍推進計画)	(1) 市の政策・方針決定過程等への女性の参画推進
		(2) 男女が対等なパートナーとして能力が發揮できる職場環境の促進
		(3) 女性の就労支援
		(4) ワーク・ライフ・バランスの促進
3	DVを許さない意識が浸透し安全・安心に暮らせるまち(大垣市DV対策基本計画)	(1) DV防止
		(2) 相談体制の充実
		(3) 被害者支援
4	性別等に関わらずひとりひとりが尊重されるまち	(1) 性別等に基づく差別やハラスメントの防止
		(2) 性差やライフステージを踏まえた健康支援
		(3) ひとり親家庭への支援
		(4) 困難を抱える女性の支援

3月8日は「国際女性デー」

海外では、3月8日に男性が、母親や妻、友人など身近な女性に感謝を込めてミモザの花を贈る習慣があり、別名「ミモザの日」とも呼ばれています。そのためミモザの花の黄色が、シンボルカラーとして使われています。

本市では、ライトアップ啓発や企画展示を実施します。



ミモザ



ライトアップ啓発の様子

<ライトアップ啓発(3月8日)>

- ▶ところ/市役所東側「キューブモニュメント」(日没~午後9時)
大垣駅北口広場(日没~午後11時)

<企画展示>

- ▶とき/3月8日(日)まで ※休館日を除く
- ▶ところ/①市立図書館1階
②スイトピアセンター学習館1階ハートリンクおおがき
- ▶内容/①TuLiP(大垣女短ジェンダーについて考えるサークル)による「ジェンダー」に関する図書の展示や紹介 ②清流の国ぎふ女性防災士会の協力による女性の視点を取り入れた被災時の男女共同参画についての展示



市立図書館での企画展示の様子